

農業化学部門の事業戦略

住友化学株式会社

専務執行役員 大庭 成弘

2006年11月10日



本日のアジェンダ

1. 農業化学部門の事業概要

- ◆ 業績推移

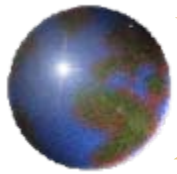
- ◆ 事業展開

- ✓ グローバル事業展開

- ✓ 新製品・プロダクトラインの拡充

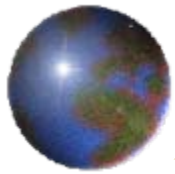
- ✓ 川下・周辺事業拡大

2. 農業化学部門の今後の事業展開



農業化学部門の事業概要

- アグロ事業
 - 化学農薬・生物農薬
 - 肥料
- 生活環境事業
 - 家庭用殺虫剤・PCO
 - 衣料用防虫剤・シロアリ防除剤
 - 動物薬
 - オリセットネット
- アニマルニュートリション事業
 - 飼料添加物
 - メチオニン(アミノ酸)
 - ビオチン(ビタミンH)



農業化学部門の基本方針

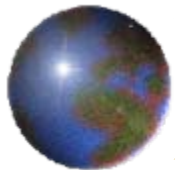
基本方針

利益ある事業拡大により事業付加価値を向上させる

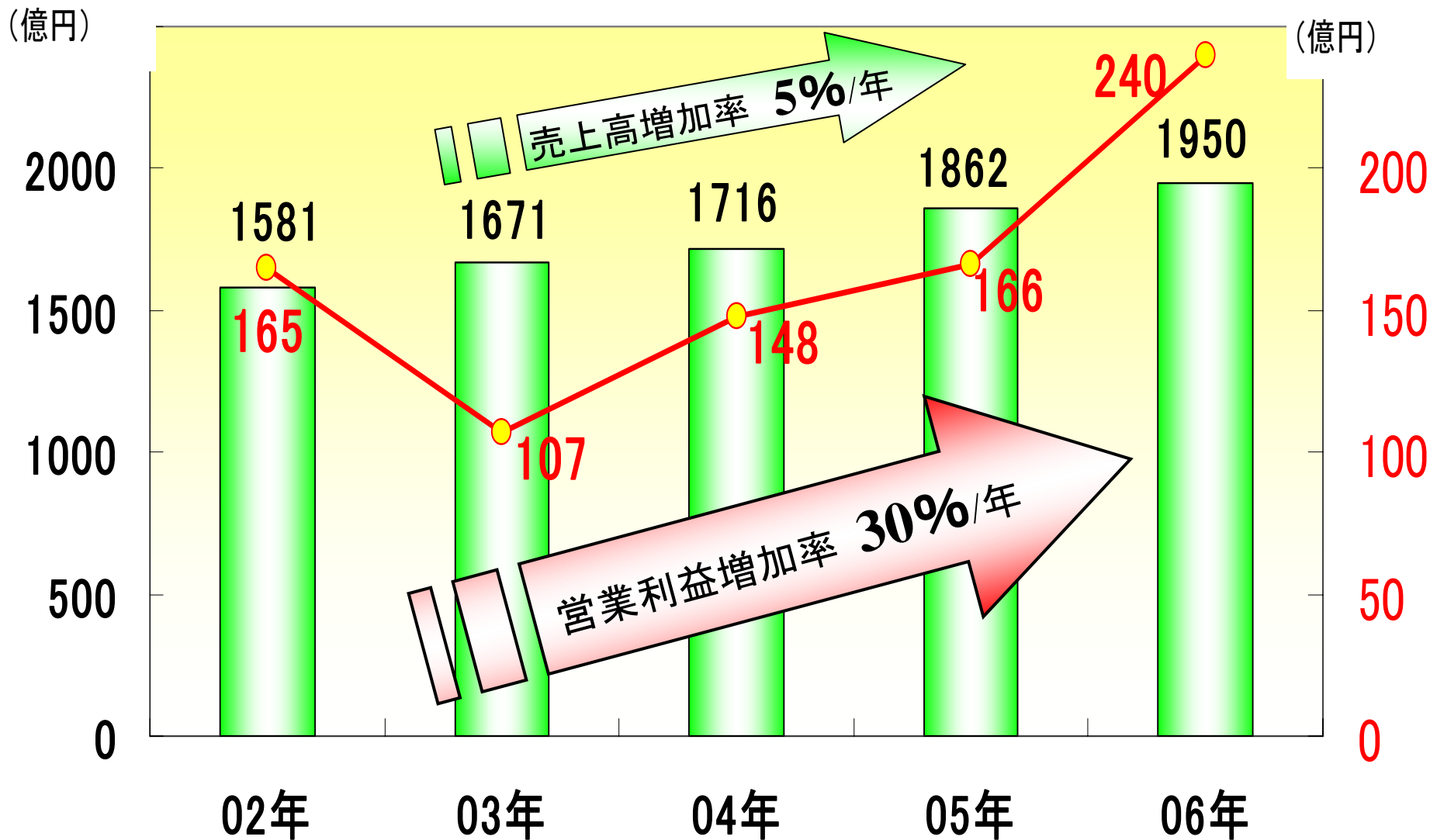
～これまでに実施した戦略投資案件の効果を
実現し、高収益事業としての基盤を確立する～

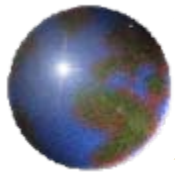
目標

市場または分野でNo.1またはNo.2の事業



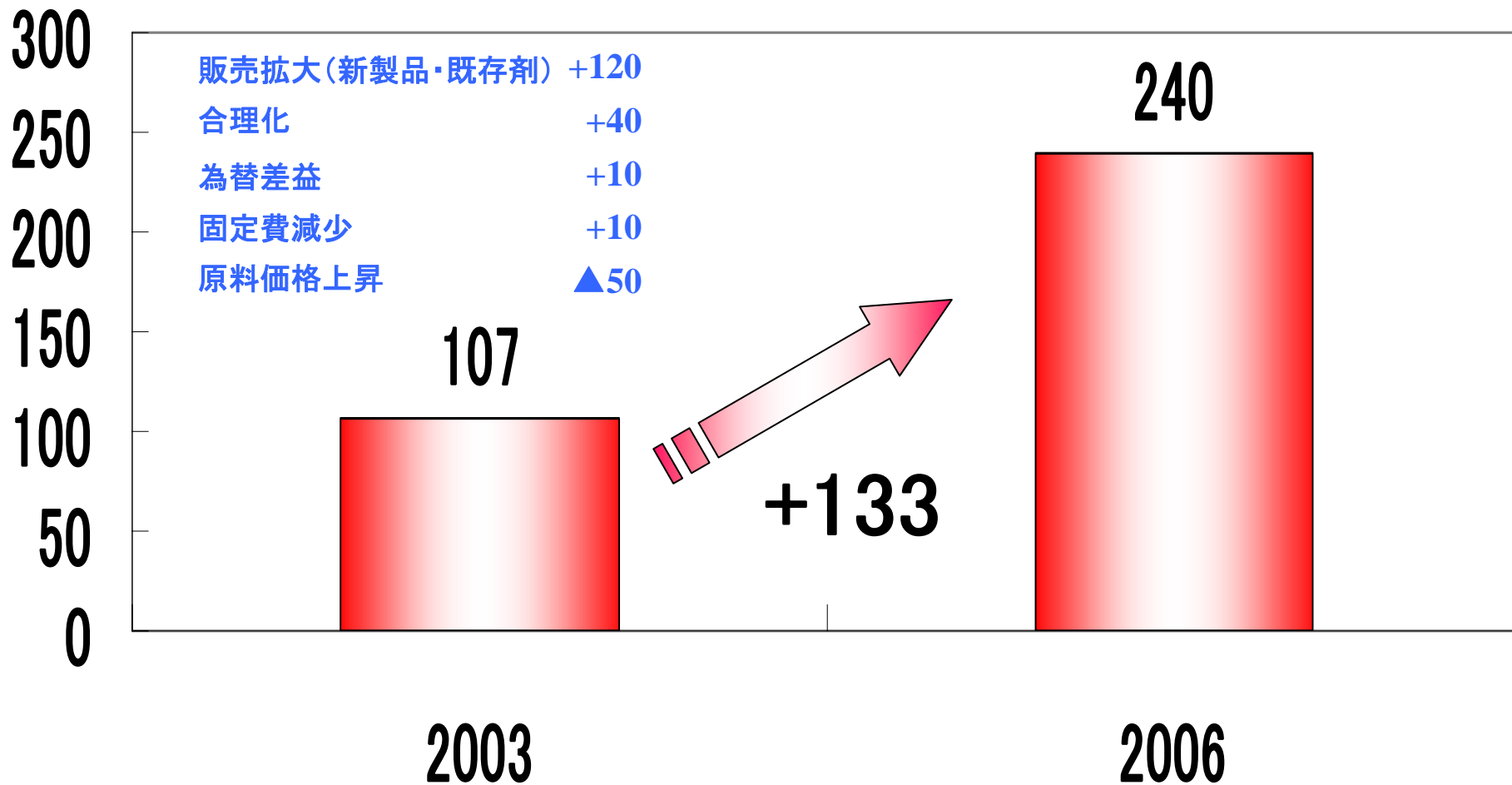
連結売上高・営業利益推移

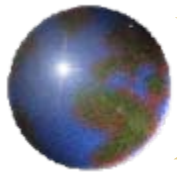




營業利益增加要因(2003⇒2006年)

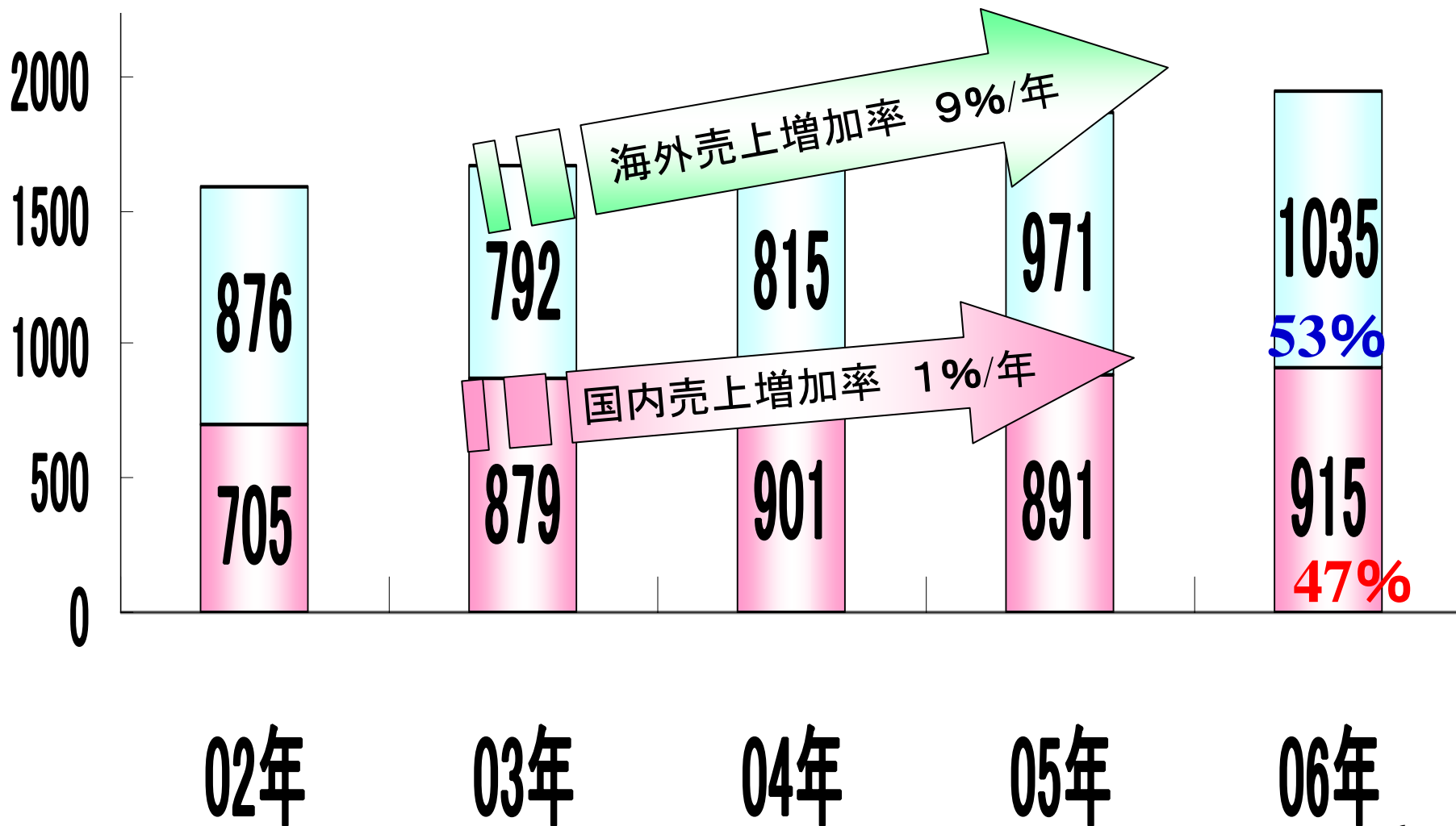
營業利益
(億円)





連結売上高(国内・海外別)推移

(億円)

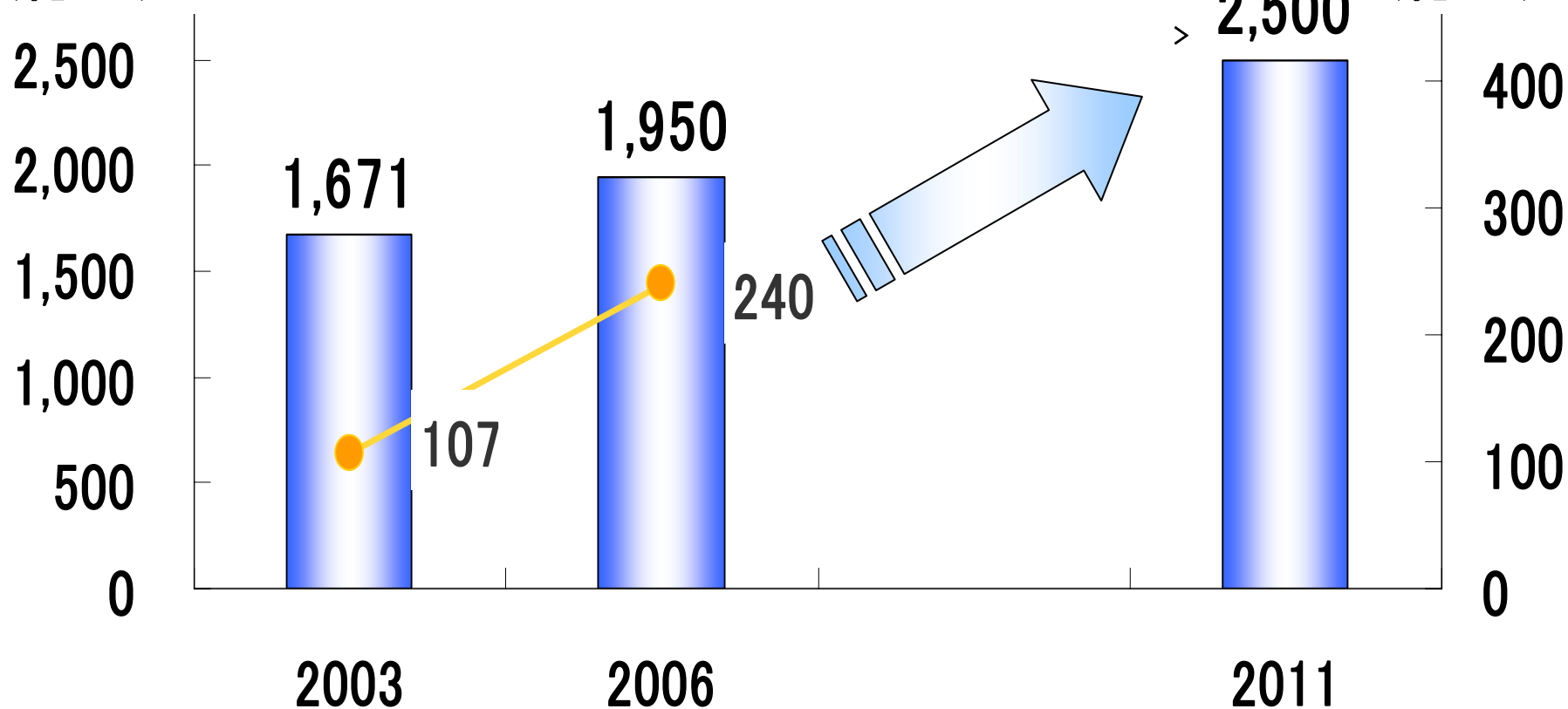




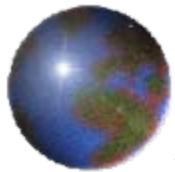
2011年度業績目標

売上高
(億円)

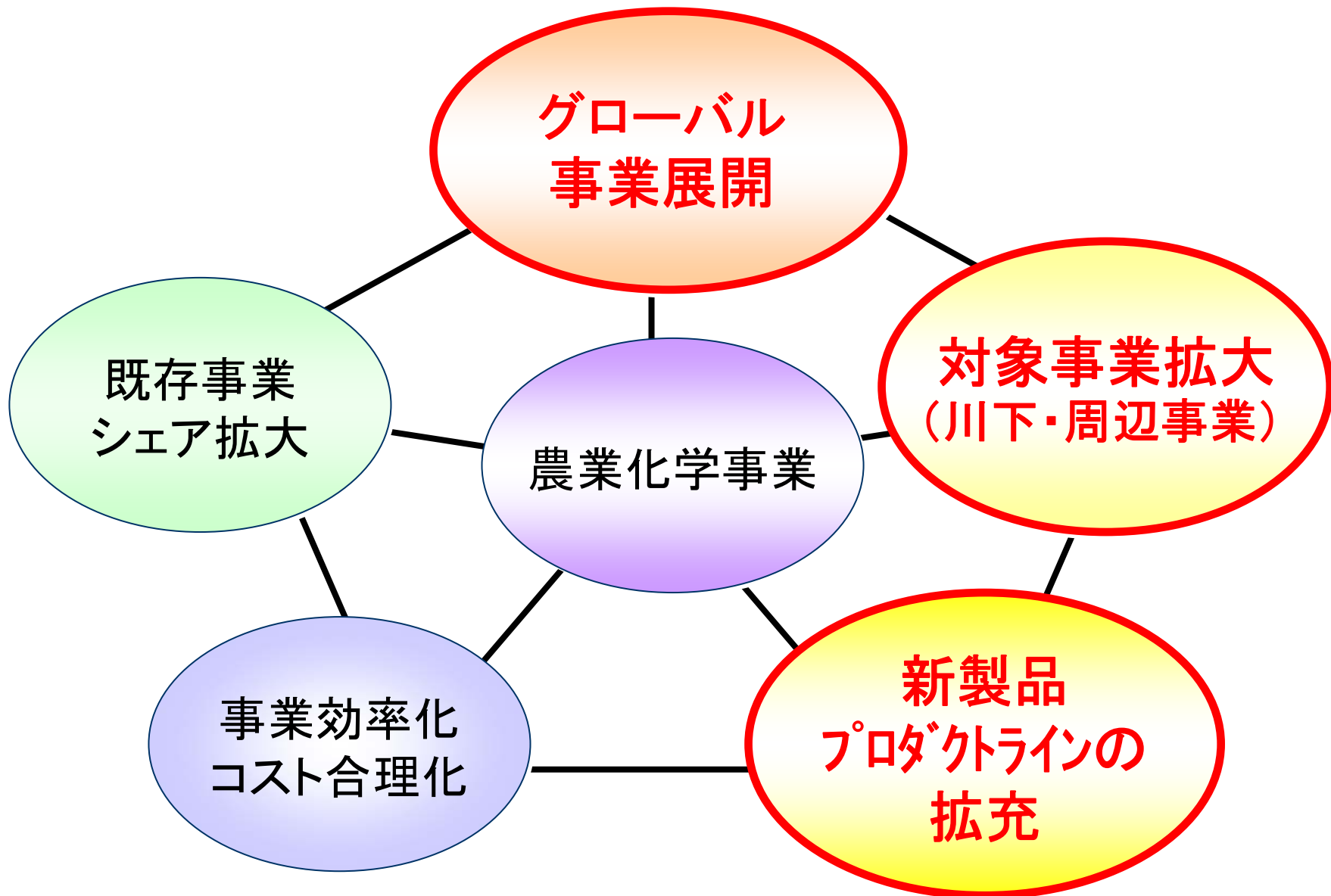
営業利益
(億円)

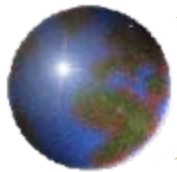


2011年度目標：売上高 > 2,500億円 営業利益率 > 15%



農業化学部門の事業展開





農業化学部門のグローバル事業展開

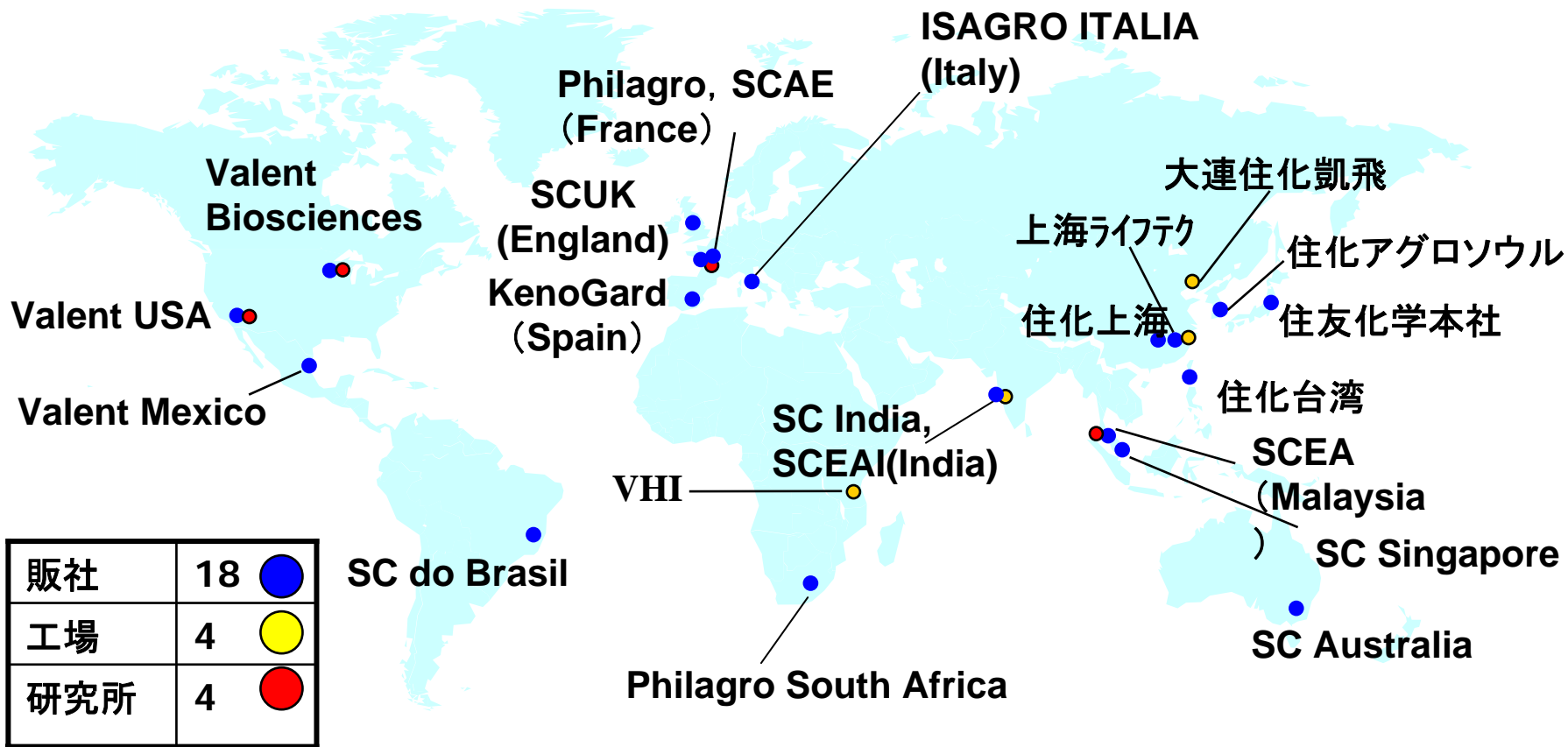
世界の市場において競争力のある事業展開を行う

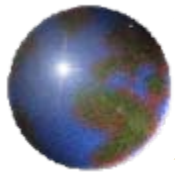
4極体制

アグロ:	日本	米州	欧州	アジア	
生活環境:	日本	米州	欧州	アジア	(中国)
アニマルニュートリション:	日本		欧州	アジア	中国



農業化学部門のグローバル事業展開





2006年 地域別売上高比率

～グローバル～

1,950億円

-米州-

17%

-欧州・中近東・
アフリカ-

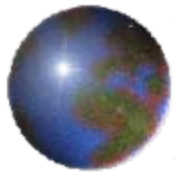
23%

-日本-

47%

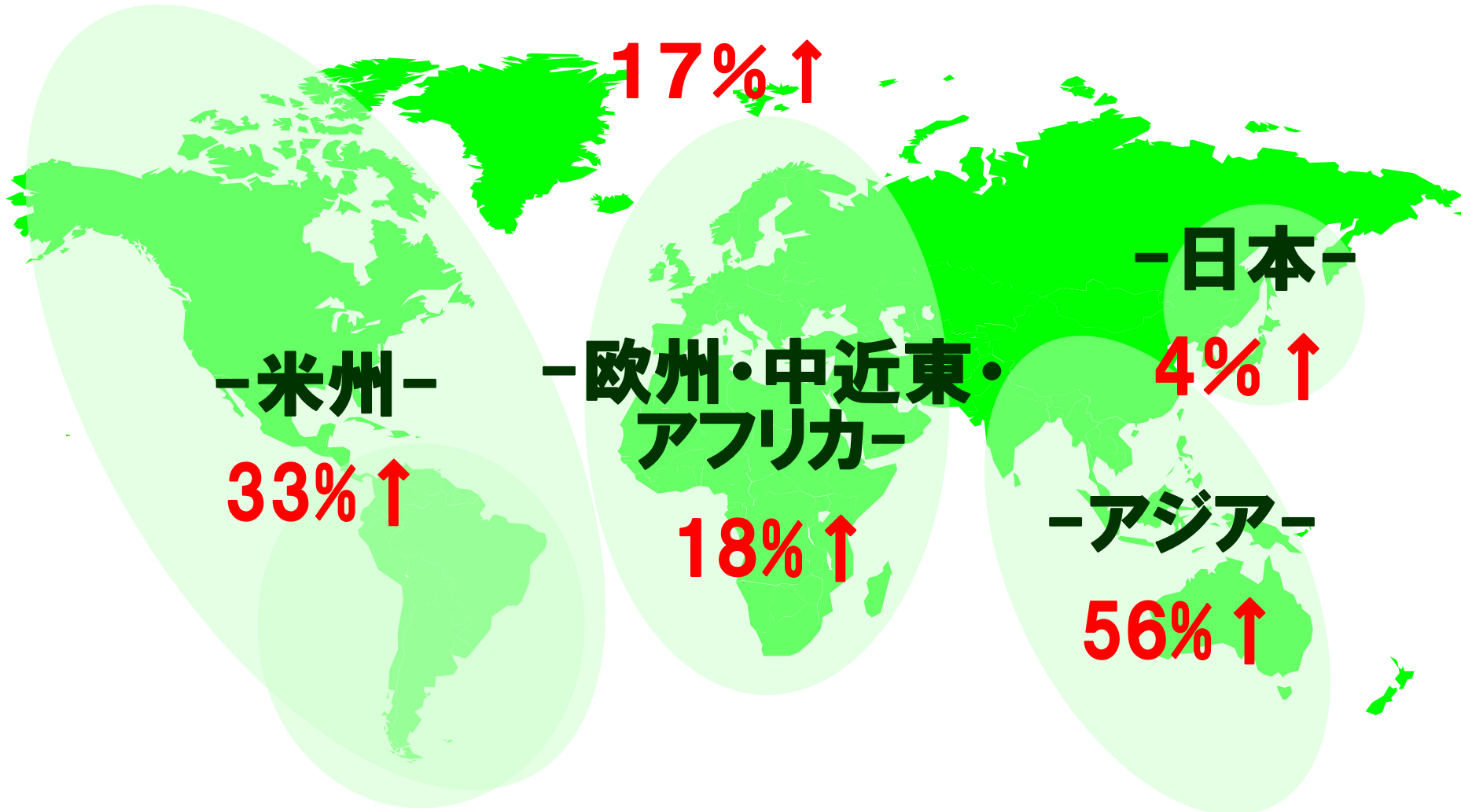
-アジア-

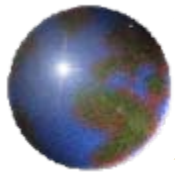
13%



2003年⇒2006年 地域別売上高成長率

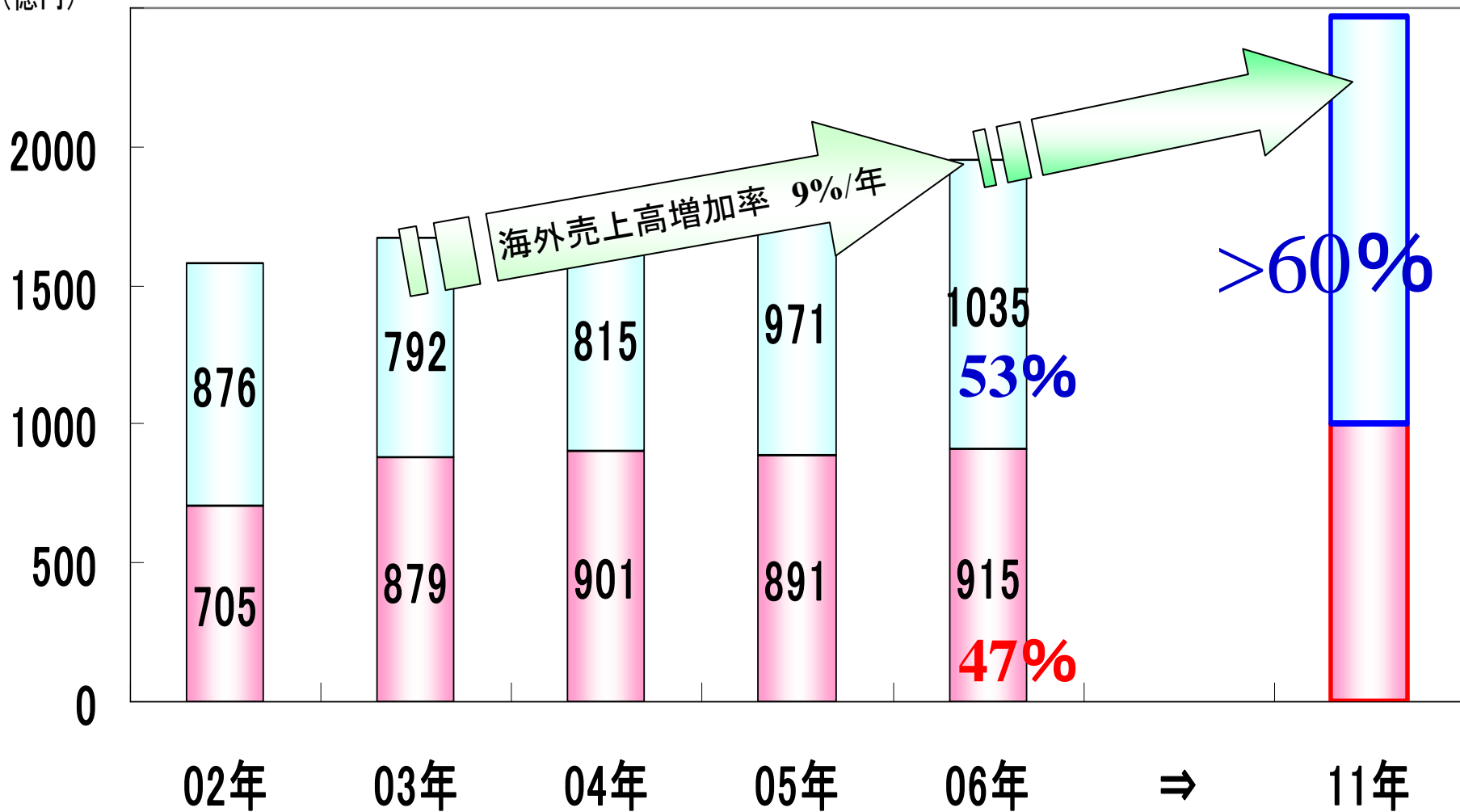
～グローバル～

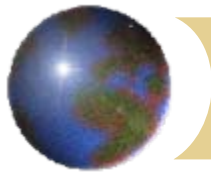




連結売上高(国内・海外別)推移

(億円)



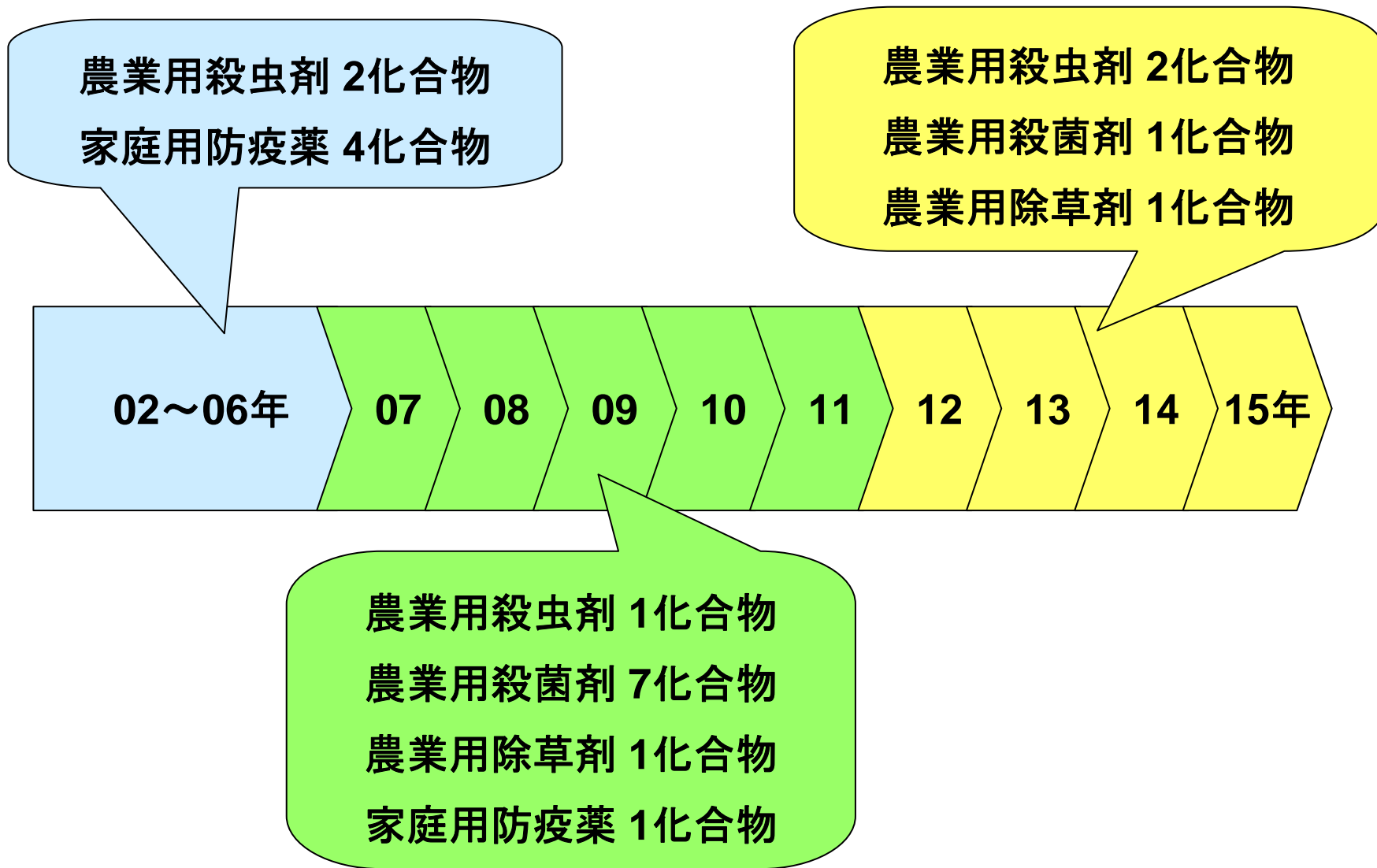


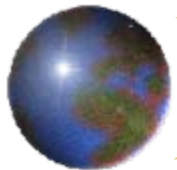
新製品：2002～2006年上市

事業分野	新製品名	用途	成長要因
アグロ事業	スミソーヤ®	除草剤	用途拡大
	クロチアニジン	殺虫剤	新製品拡充
	テラウス®	殺菌剤	製品拡充
	ピリダリル	殺虫剤	新規剤上市
	イマゾスルフロン	除草剤	製品拡充
	楽一®	水稲用基肥一発肥料	新製品
	生活環境事業	スミワン®	蚊用殺虫剤
ピ・ウエンリン®		蚊用殺虫剤	新規剤上市
フェアリテール®		衣料用防虫剤	新規剤上市
オリセット®ネット		マラリア防除用蚊帳	新製品上市
パンダック®		塵性ダニ防除剤	新規剤上市
グレネード®MC		シロアリ防除剤	新製品上市
アニマルニュートリション事業	液体メチオニン	飼料添加物	新製品上市

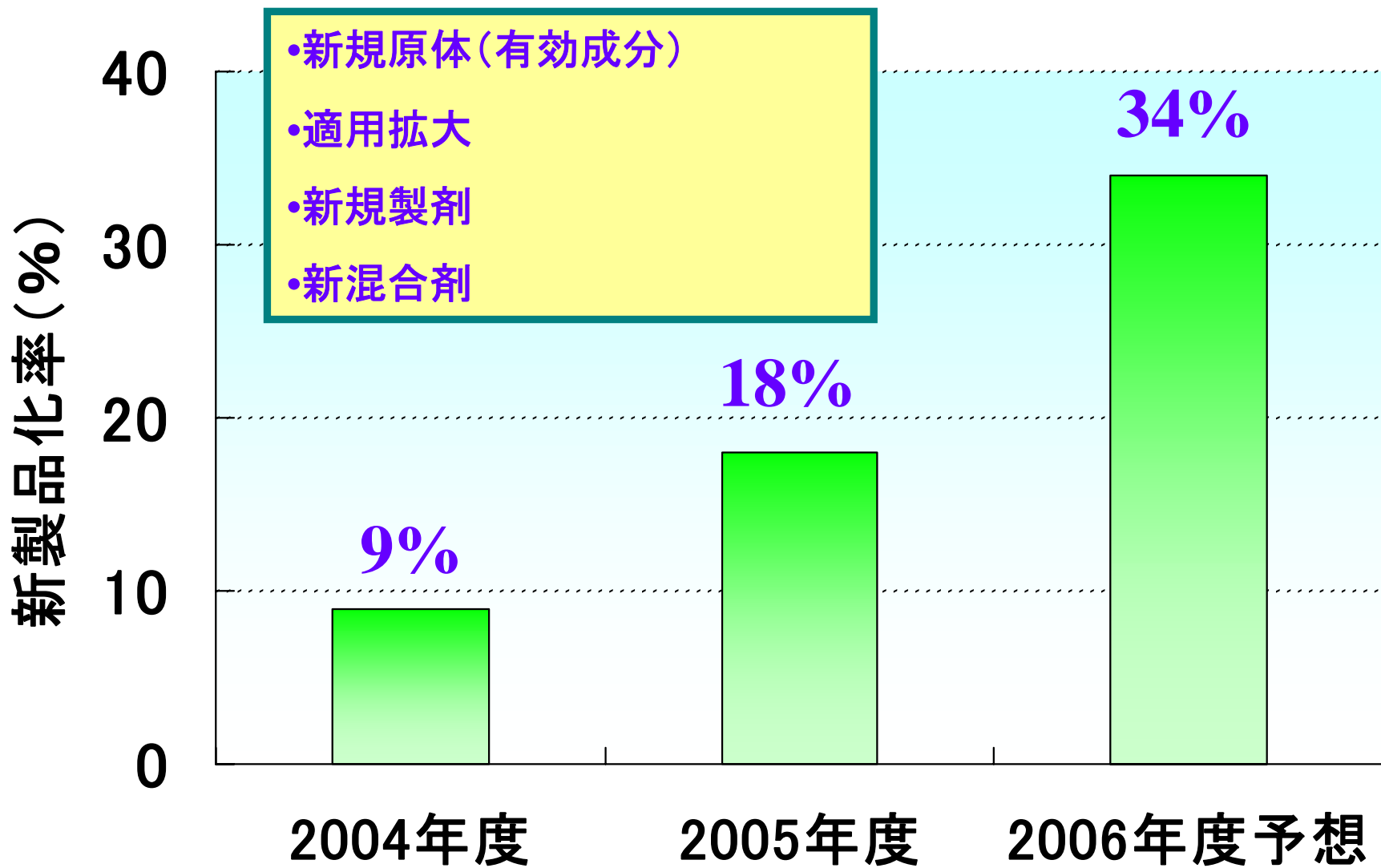


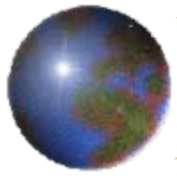
プロダクトラインの拡充





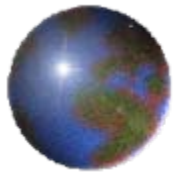
新製品化率





川下・周辺事業拡大

- 国内アグロ事業における展開
- 国内生活環境事業における展開
- オリセットネット

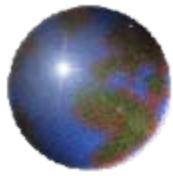


川下・周辺事業拡大

①住友化学国内アグログループ°関連会社

事業内容	会社名	持株比率
農業用農薬	住化武田農薬	60%
	協友アグリ	33%
家庭園芸	住化タケダ園芸	60%
	レインボー薬品	60%
ゴルフ場等	日本グリーンアントガーデン	74%
農業資材、 種苗、肥料等	住化農業資材	100%
森林分野	ヤシマ産業	44%
IPM事業	日本エコアグロ	100%
製造工場	住化アグロ製造	99%

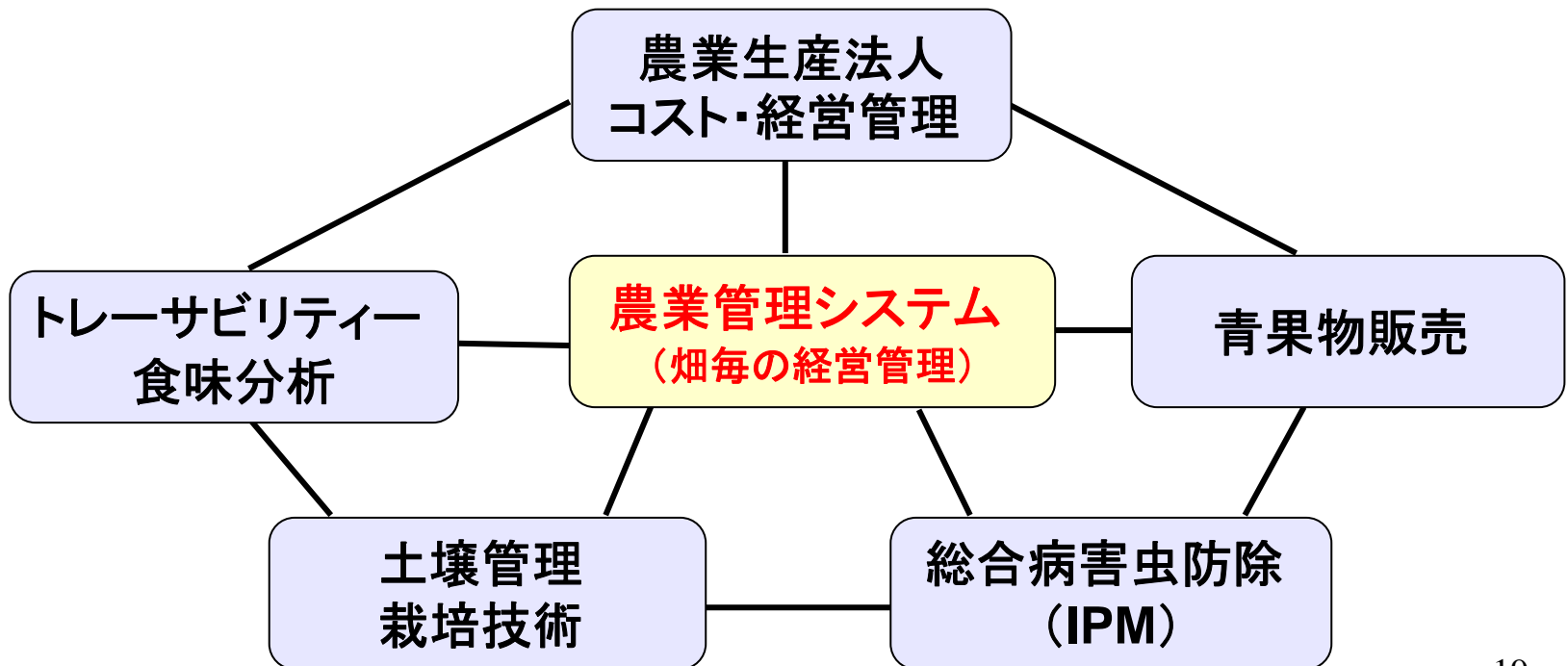
グループ会社売上高: 約800億円(2006年予想)

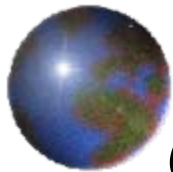


川下・周辺事業拡大 ②トータルソリューションビジネスへの展開

- ①農業の競争力向上: 担い手、大規模農業生産者育成
- ②安心・安全農作物の生産・販売支援
- ③食料供給コスト削減

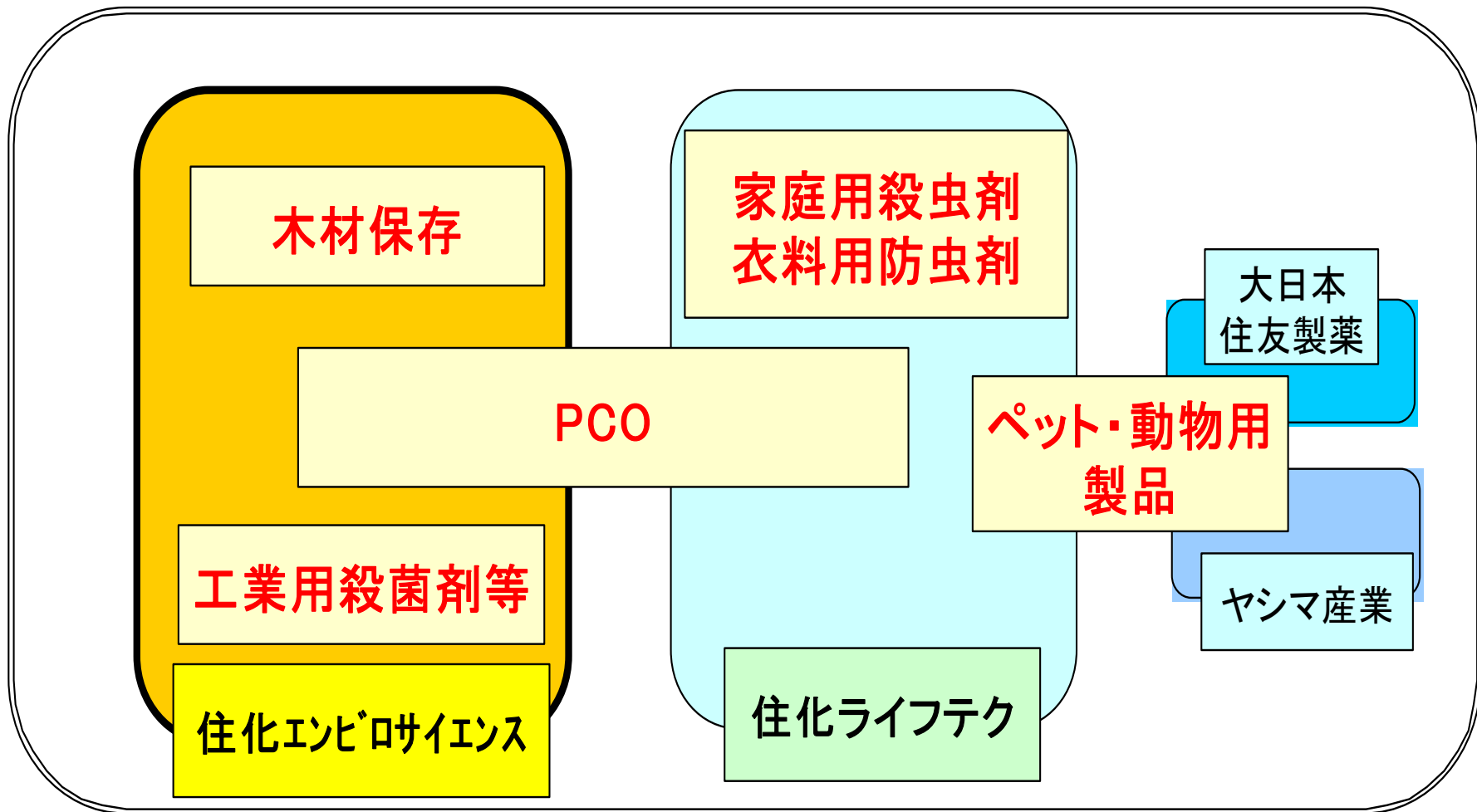
⇒【単品販売】から【複合セット製品＋ソフト】へ





川下・周辺事業拡大

③生活環境事業における展開



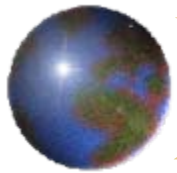
※2007年3月 営業開始予定

A young girl with dark hair is sitting cross-legged inside a large, blue, conical mosquito net. The net is suspended from above and has a dark strap at the top. The background is plain white.

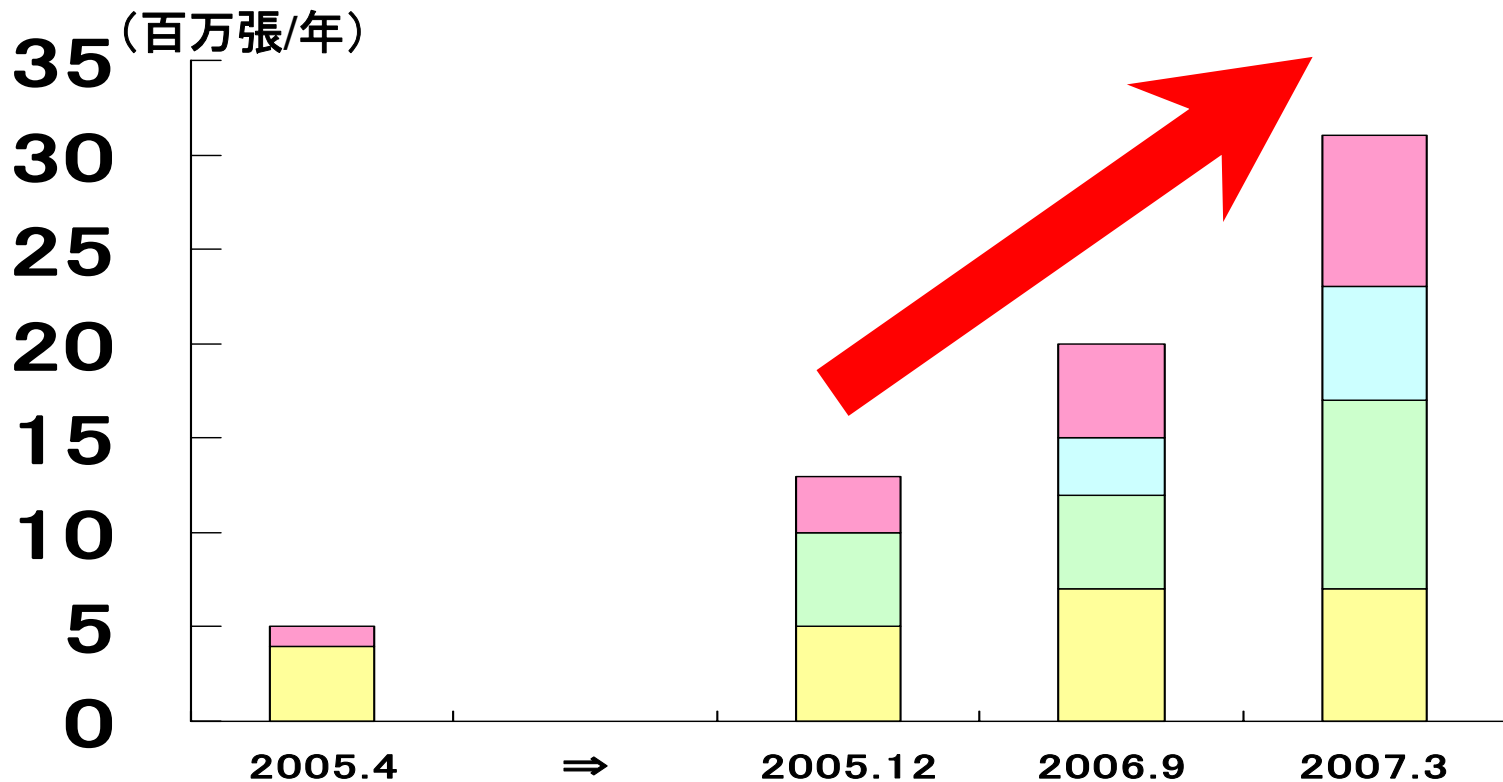
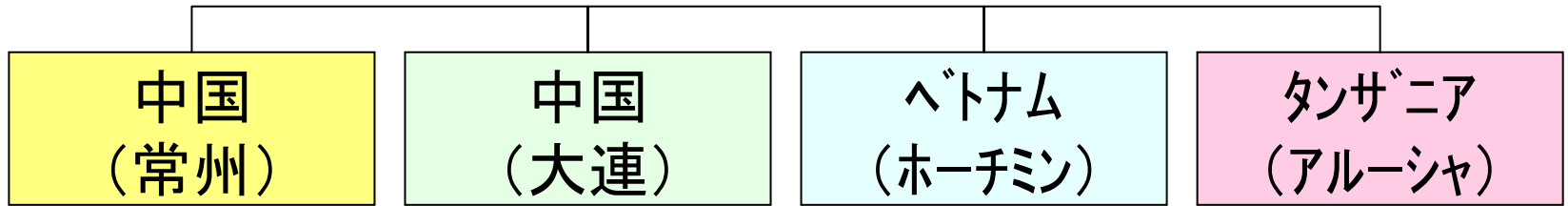
川下・周辺事業拡大

④オリセットネットの事業展開

- マラリア防除用 長期残効防虫蚊帳
- CSR貢献 アフリカの子供をマラリアから救う
アフリカ現地での雇用創出
- 2001年 WHO承認取得
- 2003年 タンザニア生産開始
- 2004年 米国タイム誌 “Most amazing Invention”
- 2006年 米国 Tech Museum Awards受賞
朝日企業市民賞受賞
- 推定需要:6~8,000万張/年



オリセットネット生産体制



オリセット売上高

100億円(2006年予想)



農業化学部門今後の事業展開方針

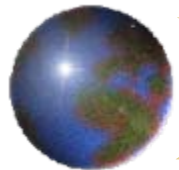
1. 基本方針

高収益事業基盤を確立し、更なるグローバル事業拡大を図る

- ・戦略投資案件の更なる効果実現
- ・成長製品・新製品の拡販

2. 経営方針

研究開発を基盤とする経営を行い、
グローバル連結経営を確立する



欧米マルチ農薬会社との差別化

1. 製品・事業の特長を生かした
高付加価値市場に注力
(ニッチ市場・地域でNo.1)

国内アグロ関連事業
農薬(グローバル)・・・果樹、野菜/
殺虫、殺菌剤重視
生活環境殺虫剤
メチオニン

2. 日本型ビジネスモデルの
確立とグローバル展開

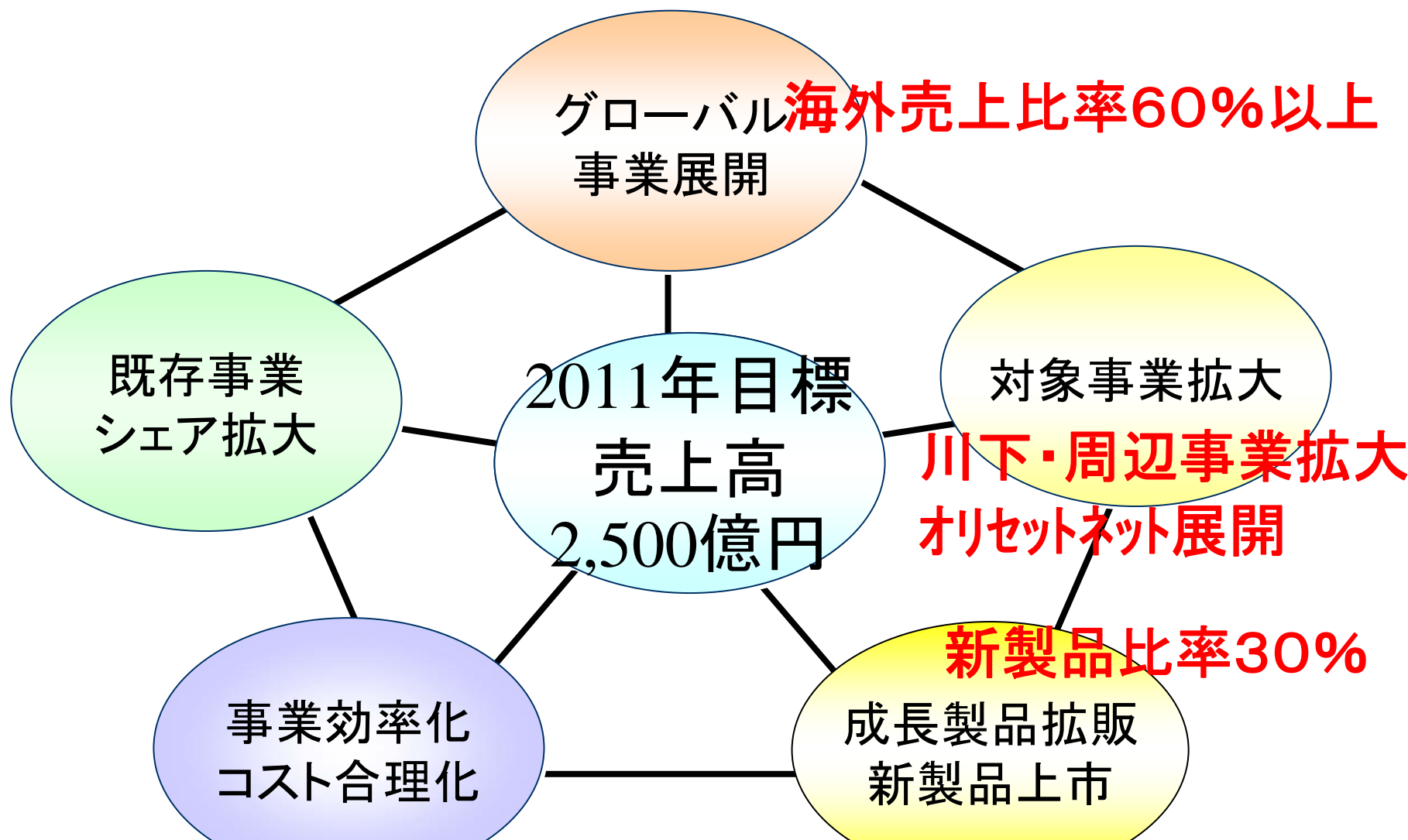
トータルソリューションビジネスの展開
川下/周辺事業の拡大
国内他社開発製品の海外販売
海外他社開発製品の国内販売

3. 研究開発の維持・強化

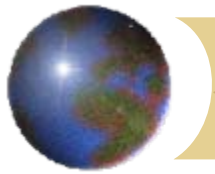
新製品上市
プロダクトラインの拡充
応用開発の強化
プロダクトライフサイクルマネジメント推進



農業化学部門の事業展開



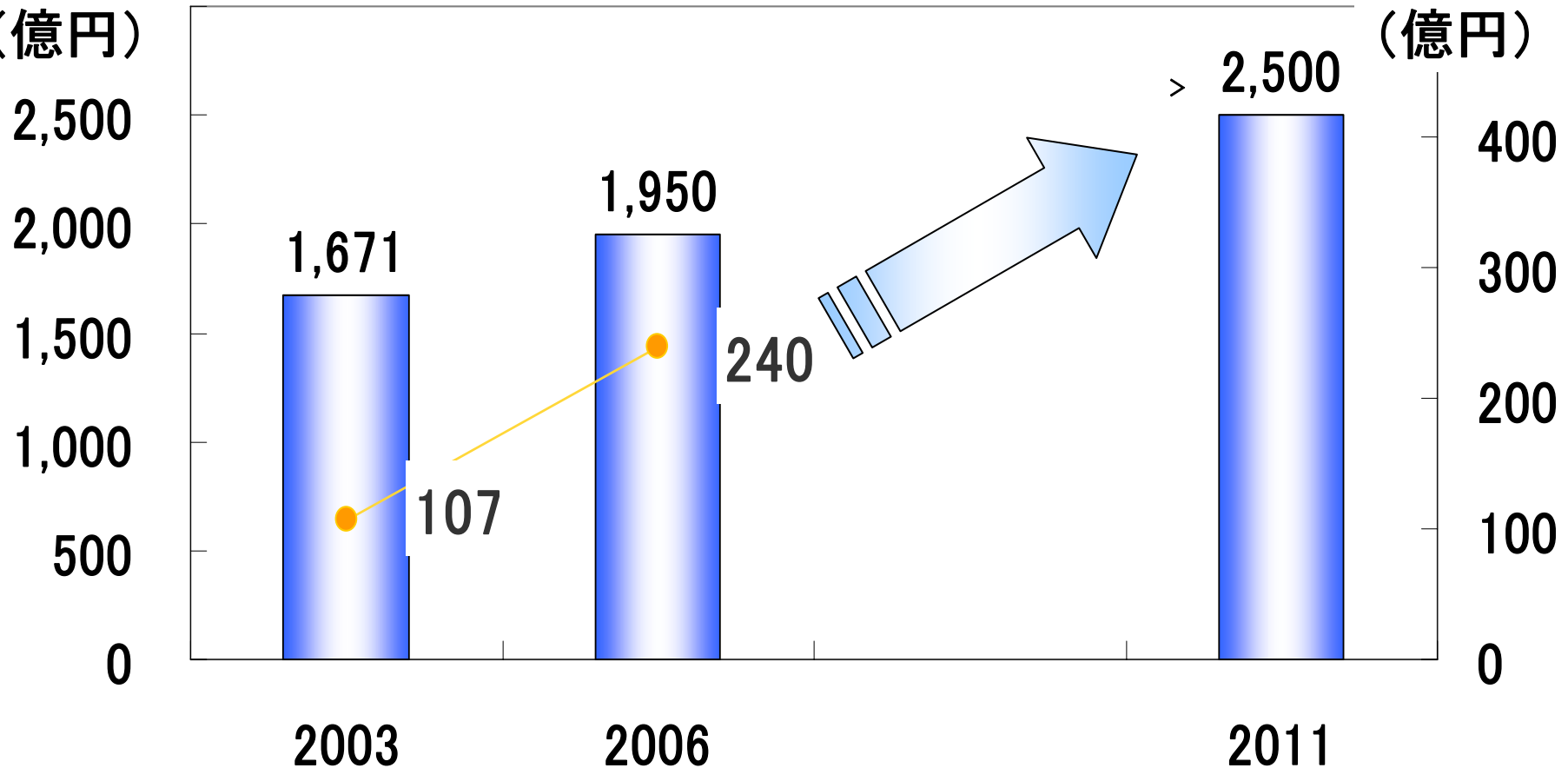
技術・サービスの革新によるスピーディーなグローバル事業の拡大



2011年度業績目標

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2011年目標：売上高>2,500億円 営業利益率>15%



注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。